



ICT教育の推進 ～一人一台のタブレット端末の配付～

教務主任 高瀬 真也

ICT教育は、子供たちの確かな学力を育成するため、よりわかりやすい授業を実現することを目標としています。ICT機器を効果的に使うことで、視覚や聴覚に訴えかける臨場感のある学びが実現します。また、知識や情報をインターネットでいくらでも手に入れられるようになった昨今、膨大な情報の中から必要なものを主体的に選び取り、活用できる「情報活用能力」や「創造力」を育成することも大きなねらいとしています。このような背景から文部科学省は「GIGAスクール構想」を打ち出しました。コロナの影響で、その必要感はさらに高まりました。それに基づき、子どもたち一人一人へのタブレット端末の配付が早急に行われました。

清流小学校でも一人一台のタブレット端末の配付が行われ、各教室に同時に配付された電子黒板も利用しながらICT教育の推進に取り組んでいます。インターネットで情報を収集し、調べ学習に活用するばかりではなく、映像やアニメーション、音声等を取り入れることによって、子どもたちの興味・関心を惹き付け、学習意欲を向上させています。また、今までの授業では、手を挙げた子供だけが意見を発表していたため、全体の前で自ら表現しづらい子供も多くいましたが、個々のタブレット端末に書いた画面を電子黒板や他の子供の画面に映し出すことにより、一人一人の考えを共有して、話し合い活動を活性化させています。他にも、写真や動画を撮影し、デジタルによる資料や作品をつくるなど、いろいろな場面でタブレット端末を活用しています。子供たちは、随分タブレット端末に慣れて、抵抗なく使用しています。これまで行われてきた授業にICT機器による教育を加えることで、学習活動が一層充実するよう授業の改善に取り組んでいます。まだまだ十分な活用が実現できていないとはいえませんが、ICT機器を活用した学習について引き続き研修を重ね、促進していきたいと思えます。

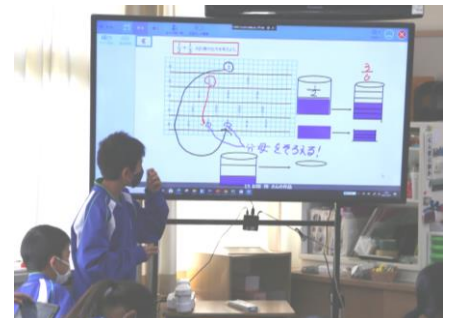
ただ、ICT機器は子供の豊かな学びを助けるツールである一方、書く力や想像力の低下、インターネットに関わる問題等のデメリットも懸念されています。それらの対策をしながら、少しずつでも確実な歩みを進めたいと思えます。ICT教育の推進には、保護者の皆様のご理解とご協力も必要です。今後とも、よろしくお願いいたします。



考えをタブレットに書き込む場



考えを友達とシェアする場



電子黒板に写して発表する場

～学校行事の様子より～

イルミネーション点灯式 11月24日（水）

今年のイルミネーション点灯式は、校章やミラたんをデザインした新しい電飾が加わり、いっそう校門前が明るく華やぎました。新しいイルミネーションにはコロナに負けず頑張っしてほしいという気持ちがこめられています。点灯した瞬間、全校児童の歓声が沸き起こりました。寄贈してくださった元PTA会長の谷口貞夫さんには、教育長より感謝状が授与されました。



裏面もご覧ください！

ニコスマ集会 11月25日（木）

「ニコスマ集会」が業間タイムに開催されました。今回はさわやか委員会の「人権てなんだろう」をテーマにした寸劇の発表がありました。同じ言葉でも言い方次第で「ちくちく言葉」と「ぼかぼか言葉」になること、「ちくちく言葉」は人を傷つけ、「ぼかぼか言葉」は人を励ますということを分かりやすく全校に伝えていました。また、今回は配慮しながら久しぶりに体育館に全校児童が集いました。子供たちはとても楽しそうに〇×ゲームや全校合唱にも参加し、笑顔いっぱいの集会になりました。



避難訓練・防犯標語披露 11月26日（金）

2時間目の終わりから業間にかけて、不審者対応の避難訓練を実施しました。「おかしも」を守って真剣に避難することや「いかのおすし」を合言葉にして身を守ることの大切さを警察署の方から教えてもらいました。また、4年生のつくった防犯標語の代表者による披露もあり、防犯への関心や意識が高まりました。他にも今回は、交通事故にあわないようにするための大切な話もしていただきました。



米づくり感謝の集い 5年生

11月26日（金）、5年生が地域の方々を招いて「米作り感謝の集い」を行いました。5年生は、総合的な学習の時間に米作りについて学んでいます。今年も加積地区老人クラブ（代表：前澤道雄さん）のみなさんにお世話になり、野村松夫さんの田で田植えや稲刈りの活動をさせていただきました。

「感謝の集い」は、そんなお世話になったみなさんを招待し、5年生が「おもてなし」する会です。子供たちと相談し、内容を決めていきました。①出し物 ②プレゼント ③会食（採れたお米のご飯を食べる） ④ゲーム、さらに司会、言葉、飾り等の分担を決め、準備をしていきました。

当日は、23名のお客様が来てくださり、子供たちは張り切って活動しました。真剣に奏でた合奏、おいしく頂いたご飯、和やかに進めたすごろくゲーム、体育館は笑顔が溢れました。お客様に喜んでいただくことができ、子供たちは満足感でいっぱいになりました。この会は、地域の方々と触れ合っつくる素晴らしい学習です。子供たちはこの活動を成し遂げ、また1つ成長できたように思います。



総合的な学習の時間「福祉について調べよう」 4年生

4年生は、総合的な学習の時間に福祉について調べてきました。その過程で、点字や手話が大切なコミュニケーションのツールになることや、盲導犬、聴導犬、セラピー犬の役割の大きさに気付いていました。

今年はパラリンピックが開催されたことから、地元から出場した選手や学校のどこをバリアフリーにすれば車椅子の人が生活しやすくなるのかということについて意欲的に調べている子供たちもいました。また、進んで調べているうちに簡単な点字が読めるようになったり、普段から手話に取り組んでいるご家庭があったりして、子供たちの吸収力には驚かされることがありました。

今後も、様々な立場の方に思いを寄せることができた子供たちの気持ちを大切に、学習を進めていきたいと思ひます。



スライドショーで発表する子供たち

今年もいよいよ終わりに近づきました。保護者の皆様には、様々なご協力本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。